

ランス・中国の核実験に抗議する要望書や、日米地位協定の見直しを求める要望書の決議など、地方議会の活動は、世論の指標としての役割を果たしています。

私たち地方議員仲間の活躍は、国会議員とは異なり、マスコミに、頻繁に取り上げられる事はありませんが、議員定数の削減や、食糧費の情報開示等で、具体的な行動を開始した議員、地域情報基盤の整備や、環境問題に取り組み、議会で質問する議員など、大変地味な活動ではありますが、自らの高い見識と、豊かな経験に基づき、創意工夫を凝らした実践的な取り組みを通して、地域社会を変革しつつある議員も多く存在します。

しかし、昨今の多様化する価値観、複雑多岐に渡る利害関係などを的確に把握し、その対応策を練り上げるためには、一般市民との活発な意見交換は、欠かせません。

そこで、普通の市民が、普段着の議員と、忌憚なく政治を語る場として、結成されたのが「市区議リーグ」です。また、リーグの基本姿勢として、平成維新の会推薦の枠組みにとらわれず、熱意ある地方議員に対しては、幅広く参加を呼びかける方針です。

私たち地方議員有志は、この「市区議リーグ」を、平成維新活動の主体（核）に育てあげる心意気です。開催日時等の詳細は、生活者通信などを通してお知らせする予定でおりますので、是非ご参加いただけますようお願いいたします。

東京都江東区議会議員 阿部悠逸

◎維新の担い手は地方議員

大前氏の都知事選落選という暗いニュースの影で、見事当選を果たしました、16名の市区議会議員、及び、残念ながら一歩及ばなかった候補者のうち、平成維新へのお思い入れが強い有志で、「市区議リーグ」なる会合を開催しています。今月の生活者通信の誌面をお借りして、市区議リーグ結成の趣旨を、ご紹介させていただきます。

私たち会員の多くは、永田町の醜い政争にばかり目を向け、そして、その主役たる国会議員に大きく期待を裏切られました。

しかし、平成維新の実現と、生活者主権の確立という崇高な理念の具現化のため、今一度、地方自治の担い手である地方議員に目を向け直して見ては如何でしょうか。

もちろん、国会議員も国民に信を負託された者として、外交や、行政改革のあらゆる場面で、有権者の具体的な要望や、意見の把握に努めているようですが、何と云っても、極め細やかに、生活者の多様な意見を汲み上げ、これを行政施策に反映できる立場にあるのは、地方議員に他なりません。実際、公害防止条例や、消費者保護条例の制定など、地方議会が、中央政府の施策を先取りする場合や、フ

編集後記

「生活者通信」の十月号（第三号）をお届けします。先月号でも申し上げたとおり本号からは「平成維新を実現する都民の会」にご参加いただいた方への送付となりました。創刊号および先月号は旧・平成維新の会の東京エリア会員の全員に送付したので組織変更のご説明や入会のお誘いなど、市民運動の展開とは直接は関係のない報告などの記事が多くなってしまいました。今月号からは私たち「平成維新を実現する都民の会」の活動を中心に編集して会員の皆様への情報誌としての会報という姿勢が強くなっています。東京都に暮らし、東京都を愛している生活者として「東京を良くしよう」との思いを日常の生活に活かすための情報誌としての「生活者通信」は、これからが、本当のスタートであるかもしれません。今後とも読者の皆様のご支援をお願いいたします。新たにスタートした都民の会は、今月号の記事をご覧いただいております。新しい活動をスタートしたばかりの団体です。そのために、各種の活動へのご参加のお誘いの記事が多くなりました。教育、国政選挙、ボランティア、地方議員との交流、地域の集会や「一日の会」などなど、都民の会が展開している活動は多岐にわたります。今月号の記事の中では積極的なご参加を呼び掛ける調子の記事が多くなりましたが読者の皆様にプレッシャーをかけようという編集上の意図などはございません。ご紹介した企画の中でご関心のある活動がありましたら、お気軽にご参加下さい。きっと新しい人との出会いがあると思います。今月号でも北海道の地域組織を紹介しましたが、今後とも全国各地の会員活動の状況のご報告などにも力を入れて行きたいと思えます。そして、都民の会の活動の進展に伴って、今後は「参加のお誘い」以外に「活動のウラ話」とか「成果の報告」などの記事も増やしたいと思えます。このような報告によって、東京を良くしようという動きが続いている、そして全国各地に私たちの仲間がいるという実感を持っていただければと考えております。そのためにも、本号を読んでの感想や、「こういふ記事を載せてほしい」といったご意見を編集部までお寄せ下さい。元氣の出る会報を目指して今後とも努力いたしますのでよろしくお願ひします。（Y）